

福澤諭吉先生の教えを継承する ～福澤諭吉記念 第57回全国高等学校弁論大会～

本大会は、中津にゆかりの深い偉人、福澤諭吉の遺徳を顕彰し、全国の高校生の弁論力の向上と大会を通じた交流を目的に毎年開催しています。高校生による弁論大会としては、高校の弁論指導者からは「弁論の甲子園」と称され、全国トップレベルの大会として位置づけられており、北は北海道から南は沖縄県まで、原稿審査を通過した高校生及び招待弁士の出場による大会です。

福澤諭吉は、『学問のすすめ』の中で、「演説とは英語にて“スピーチ”といい、大勢の人を会して説を述べ、席上にて我思ふ所を人に伝ふる法なり」と述べており、多くの人の前で自分の主義、主張や意見を述べることの重要性を説いています。その教えを脈々と受け継ぐ本大会は、弁論に励む全国の高校生の憧れの舞台となっています。

1. 大会開催の経緯について

昭和36年、元慶應義塾大学教授の池田弥三郎先生が宮崎県に出張した帰りに中津に立ち寄り、福澤旧居を見学しました。その折、当時の中津市長、中津三田会会長などが集まり、池田先生を囲む懇談会が催されました。

そこで、福澤諭吉先生の遺徳を顕彰するために記念になるような中津市挙げての行事を開催したらどうかという話になりました。ちょうど、慶應義塾命名100周年を控えており、その100周年記念に先立って中津市で福澤先生にちなんだ記念行事を行ってはどうかということになり、中津市と慶應義塾の共催で慶應義塾の先生を講師に迎えた文化講演会と全国高等学校弁論大会を行うこととなりました。昭和37年4月23日に福沢会館で第1回目が開催され、栄えある第1回の最優秀校は、福岡県の三池高等学校でした。

2. 第57回大会の概要

- 日時 平成30年12月7日（金） 9:00～15:35
- 場所 中津文化会館
- 主催 中津市
- 共催 慶應義塾
- 後援 大分県・大分県教育委員会
NHK大分放送局・OBS大分放送
TOSテレビ大分・OAB大分朝日放送
公益財団法人福澤旧邸保存会
- 審査員 7名（別紙要項）
- 出場者 29名（別紙弁論内容一覧）
 - (1) 原稿審査による出場（18名） 応募32名
 - (2) 大分県、沖縄県大会上位校 各2名
 - (3) 外国人留学生 1名（岩田学園高校2年男子、ドイツ出身）
 - (4) 市内高等学校代表 5名
 - (5) 基準弁論者 1名（東九州龍谷高校）



■協力 中津南高等学校、中津南高等学校耶馬溪校、中津北高等学校、中津東高等学校、東九州龍谷高等学校

- (1) 弁論担当教諭による原稿審査
- (2) 高校生による大会運営の係活動
- (3) 聴衆として参加
- (4) アトラクション出演（中津東高マーケティング部、龍谷高 NAMU-NAMU GIRLS 予定）

■日程（予定）

【6日（木）】

- 15：30～ 福澤旧居、寺町見学
（希望者 弁士15名 引率者15名）
- 18：00～ 弁論順抽選会
- 18：30～ 審査員打合せ会
- 19：00～ 弁士交歓会、引率者懇親会、審査員と市長の懇親会

【7日（金）】

- 8：30～ 舞台上で、記念撮影（弁士、引率者、審査員、関係者）
- 9：00～ 開会行事 市長あいさつ、慶応義塾あいさつ、優勝旗返還
- 9：25～ 基準弁論（基準点の算出）
- 9：40～ 1番弁士弁論
- 11：25 13番弁士弁論終了
休憩（聴衆入れ替え）
- 12：00～ 14番弁士弁論（留学生弁士）
- 14：05 28番弁士終了
- 14：10～ 審査、アトラクション
- 15：05～ 表彰式
- 15：35～ 閉会



- 弁論 (1) 演題は自由。
(2) 弁論時間は6分以上7分以内。不足、超過は減点の対象となる。
(3) マイクを使用する。
(4) 壇上への時計の持ち込みはできない。

- 表彰 (1) 最優秀賞（1名）
慶應義塾塾長賞（大会優勝旗）及び中津市長賞（市長杯及び副賞）
副賞「福澤先生の足跡を訪ねて」旅行券
- (2) 優秀賞（10名）
大分県知事賞・大分県教育長賞・中津市議会議長賞
NHK大分放送局長賞・OBS大分放送社長賞
TOSテレビ大分社長賞・OAB大分朝日放送社長賞
NPO法人中津文化協会理事長賞・中津三田会会長賞
国際ソロプチミスト中津会長
- (3) 入選（上記各賞以外の出場者）

■問合せ先 中津市教育委員会社会教育課生涯学習推進室
担当：山本・中原（TEL：0979-22-1111・内線482・483）

福澤諭吉記念第57回全国高等学校弁論大会出場弁士一覧表

番号	都道府県名	学年	年齢	性別	演 題	内 容
1	北海道	2年	17	女	「ビリョクだけどもリョクじゃない」	高校生平和大使としてスイスを訪れた経験から
2	北海道	2年	17	女	希望あふれる学び舎を	院内学級の必要性和理解
3	宮城	2年	17	男	ブラックアウトの先に見た夢	視覚障害者としての思い
4	茨城	2年	17	女	メディアの来し方、行く末	ネットメディアと共存するための意識
5	東京	2年	17	女	奇跡	奇跡的に命をとりとめた経験による感謝の思い
6	神奈川	3年	18	男	ディベートのすゝめ	情報化社会におけるディベートの有用性
7	富山	2年	16	女	たからものをつなぐ	伝統文化「おわら風の盆」から気づいた文化の重要性
8	石川	2年	17	女	美味しい共同養育を	子どもの貧困問題対処のための共同養育
9	愛知	2年	17	男	鬼母の願い	病のため食事制限がある弟と母への思い
10	大阪	1年	16	男	フェイクニュース～私たちの心と社会を映す鏡～	フェイクニュースとのつきあい方
11	岡山	2年	17	女	言葉に思いを	I T社会における「言葉」への責任
12	岡山	3年	18	女	生まれてきて	男手一つで育ててくれた父への感謝
13	福岡	2年	17	男	復興を問う	被災者にとっての真の「復興」とは何か
14	福岡	2年	16	女	知ることによって変わる	障害者差別の問題
15	福岡	2年	17	女	信号のない大通り	多数派の勢いに流されないより良い社会づくり
16	福岡	2年	17	女	The world on the table	自分に関係ないような問題にも関心を持つ
17	佐賀	2年	17	男	自然との共存は私たちの宿命	九州北部豪雨のボランティア活動の経験から
18	長崎	3年	18	女	できることから	子どもの貧困問題から子どもの食を考える
19	沖縄	3年	18	女	全ての母へ～苦しみより幸せを～	育児における女性差別
20	沖縄	2年	16	女	少女Aからの脱却	オーストラリアでの国際交流で学んだこと
21	大分	3年	17	女	光と闇の世界	児童虐待、いじめと向き合う
22	大分	2年	17	女	「障がい」を考える	障害者差別の問題
23	中津市	2年	16	女	私の「#me too」運動	セクハラ根絶のためにできること
24	中津市	2年	16	男	戦争	ジャーナリストの拘束をきっかけに考える戦争
25	中津市	3年	18	女	最後まで、最後まで	動物の命の大切さ、尊さを訴える
26	中津市	1年	16	女	電子機器と爆弾	発明者の願いと使用者のモラル
27	中津市	2年	17	女	境界線	心のバリアフリーと共生社会の実現
28	基準弁論	1年	16	女	ふるさと～愛しい いなか～	ふるさと応援（基準弁論）
29	留学生	2年	16	男	私の日本留学	ドイツ留学生（審査対象外）

※ 番号は、エントリーナンバーで、弁論の順番ではありません。弁論順は、大会前日（12月6日）の抽選会で決まります。

※ 審査の都合上、現段階での弁士氏名、学校名は公開できません。

※ 年齢は、大会当日（12月7日）を基準としたものです。

※ 本表は、取材依頼用に作成したものです。お取り扱いには、ご注意ください。詳細をお知りになりたい場合は、事務局にお問合せください。